

平成28年8月号の「こらぼ」、「疲れることもあるけど」の中で、一方的に自分のことだけを伝える、一方的に自分の要求だけを訴えるのは、相手のことを思いやっていない「機械的」なやりとりになってしまふ。人と付き合うのは、時には面倒くさいことや疲れることもあるけど、それが人と人の付き合いや関係性だったりするのではないか。お互いに話し合い、付き合い合っていくことが、大切なのではないか、ということを書きました。

「前はそんなんじゃないかったけどなあ」「昔はこれしかなかったけどなあ。今はこんなこともあるんだ」「こういう考え方もあるのか」と感じたことがあったとすれば、それは「多様性」に触れている瞬間のひとつです。

これからは、AI(Artificial Intelligence…人工知能)技術の急速な進歩によって、時代の進化はこれまでの15倍の速さで起こるようになってくると言われています。たとえば、AI端末に話しかけることで欲しい情報が簡単に得られたり、そこで得た情報を基にAI端末から提案があったり、或いは「ここはどんな場所？」と興味を持てば、あつという間にその場所の様子を知ることができると、これまでのように「調べる」ことの手間は減り、かかっていた時間も短くなり、ものごとの進み方が便利にスピーディになっていきます。

こう書いていると「人にできることは何だろう」という考えが、頭をよぎります。人はAIのように正確に素早く結果を出せないし、そもそもAIのようにたくさん情報を見ておくこともできないし、「人の弱み」さえ感じています。

一方で、「AIにできないことにできることは何だろう」と考えると、人は既成概念にとらわれずに新しいことにチャレンジしていくこと、人間の発想力や気づきを駆使して活動しながら何かを作り上げていくこと、と考えることができます。一人では達成できなくても、いろんな人の意見を出し合うことで、多様性や多面性に満ちたアイデアが集まり、それぞれの創造性を高めていくことができるのではないのでしょうか。そのためには「こうあるべき」「こうでなければならぬ」「こう取っ払い、こうしたいな」「こうだったらいいな」「こういうのもアリじゃない？」とポジティブな興味や関心をもって、人と話し合い付き合っていくことが大切なのだと思うのです。

AIがするのは作業、人がするのは「人の強み」であるそれぞれの違いを活かして「どうしたらいいのか」という本質を見極めながら創意工夫していくこと。こう考えてみると、いろんな人がいて、いろんな考え方や捉え方があるからこそ、それを理解し合える活かすことで、人しかできないクリエイティブなことができるのかもしれない。

強みをいかす



スクールサポーター (臨床心理士) 小林 真理

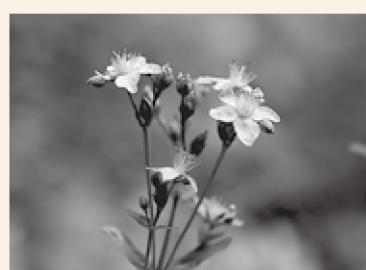
こらぼ
こらぼのコミュニケーション

【問い合わせ】
植物園 電話 48 3333

【参考文献】
佐藤邦雄 (1978)
信州佐久の植物方言

方言と由来等 (ソメコグサ)
染色に用いることができるという意味に由来します。

町内にも自生し、山地の草原等に見られる多年草です。7月下旬から8月中旬頃、黄色の花をつけます。オトギリソウの名前は、この植物を原料とした薬の秘密を弟が他人に漏らし、これに怒った兄に切り殺されたという平安時代の言い伝えに基づいて名付けられたそうです。



染色に使える？ オトギリソウ

オトギリソウ(弟切草)

軽井沢の植物と方言 17

軽井沢に残したい建物で 後世に伝えたい音楽を…
会場 / 吉村順三氏設計 ハーモニーハウス 軽井沢 1067-11

『軽井沢森の音楽祭 2018』
主催 軽井沢の森の音楽祭 2018 実行委員会
チケット予約 TEL 070-6471-6221 大賀ホールでも発売中
メール: karuizawamori@gmail.com

8/24(金) 16:00~	オペラ『椿姫』ハイライト (語り付き) 中川座 (出演 8名中川京子他) 5,000円
8/25(土) 16:00~	プエノスアイレスの夏 オールピアノ特集 トリオプエノスアイレス (佐原敦子他) 4,000円
8/26(日) 16:00~	歌を愛した作曲家たち 歌曲王シューベルト他 軽井沢森のクインテット (斎藤龍他) 4,000円

高齢者向け配食サービス

配食の
くれ愛
軽井沢店

栄養バランスを考えた
安心・安全なお弁当
一回・一食からでも
町内全域配達いたします
1食 350円~
(税別)

初回1食無料

電話: 0267-31-0534 FAX: 0267-31-0520